

## 平成 22 年度 河川レンジャー年間活動計画(案)

平成 22 年 2 月

高槻管内河川レンジャー	中島 敏明
	吉川 正之
	酒井 信行
	中川 ゆり子
山崎(大阪府域)管内河川レンジャー	谷岡 寿和子



## 目 次

1. 高槻出張所管内河川レンジャー 中島 敏明 ..... 1
2. 高槻出張所管内河川レンジャー 吉川 正之 ..... 12
3. 高槻出張所管内河川レンジャー 酒井 信行 ..... 32
4. 高槻出張所管内河川レンジャー 中川 ゆり子 ..... 49
5. 山崎(大阪府域)管内河川レンジャー 谷岡 寿和子 ..... 58



# 1. 高槻出張所管内河川レンジャー 中島 敏明

## 1.1 活動テーマと活動分野

高槻出張所管内を活動エリアとする中島レンジャーは以下の活動テーマのもと、6つの活動を実施します。

活動テーマ

もっと知ろう芥川・淀川、 河川との関わりを考える

平成 22 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名	
河川に係わる啓発活動	芥川・淀川連続講座 3	歴史と生活からみた芥川
		芥川をみんなの川に
河川の環境保全を図る活動	芥川、淀川の多様な生態系を守ろう	遡上アユを見つけよう
		魚道見学会
		遊歩道リバーウォーク
		ミズヒマワリ駆除作戦
	小学校での啓発活動	如是小 (女瀬川・芥川観察会) 桜台小 (芥川教室)
	(下流部クリーン作戦)	

## 1.2 芥川・淀川連続講座 3

### (1)活動目的

連続講座 3 年目を迎え、今年度は「歴史」「生活」「河川との関わり」に視点を置いて 2 回実施したい。

また、参加者各自に、河川との望ましい関わり方を考えてもらいたい。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月	24 日(土) 歴史と生活から見た芥川	・実施計画と立案 ・広報活動 ・講師、協力スタッフ との打ち合わせ ・実施場所の下見 ・資料作成
	5 月	未定 芥川を皆の川に	

### (2)参加対象者・定員

[芥川・淀川連続河川講座] ~

一般の市民・河川関係者を対象とする。

定員 60 名

### (3)実施内容

歴史と生活から見た芥川

講師：(古藤幸雄氏)

芥川の歴史と人々のかつての川との関わりを知り、現在の課題を考える。

質疑応答

当日のプログラム

9:30 受付

10:00 河川レンジャー挨拶・講師紹介

10:10~11:40 講演

11:40~12:00 質疑

12:00 河川レンジャーによる次回講座紹介、まとめ

12:10 解散

芥川を皆の川に

講師：（幾つかの団体代表者・地域の方）

それぞれの立場から芥川・淀川への思いを語ってもらう。

出来れば芥川の写真展を同時開催したい。

質疑応答

当日のプログラム(同上)

(4)実施日

4月24日(土) 10:00～12:00

未定 (同上)

(5)実施場所

～ 高槻市生涯学習センター3F 研修室



(6)広報・募集方法

～

広報たかつき

芥川倶楽部ホームページ等

公民館等案内ピラ配布

関係団体へのピラ配布

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

～ 8人(NPO 芥川倶楽部・たかつき環境市民会議)

会場準備

受付、後片付け等

(8)必要支援内容

検討中

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

講師との打ち合わせ

スタッフとの打ち合わせ

関係団体への参加要請

当日の運営(準備・後片付け)

・司会、挨拶、講師紹介、次回案内

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年度の多数の事業参加者から、芥川の歴史への興味・関心を聴くことが出来た。かつての人々と河川との関わりを知り、現在の課題を共有したい。

出来れば、芥川の写真展を開催しながら、芥川への思いを語ってもらい、河川への関わりの課題を共有したい。

(11)活動を行ううえでの課題等

2回連続して参加していただける人の確保。

参加者の意見、疑問等の表明を大切にし、共通認識を深める。

意見を述べ合い、望ましい協働型河川管理・川づくり・河川へ関わりへの現在の課題を鮮明にしたい。

### 1.3 芥川・淀川の多様な生態系を守ろう

#### (1) 活動目的

芥川に生息する魚類を中心とした生きものを通して、芥川・淀川への興味・関心を呼び起こし、芥川・淀川への今後の関わり方を見つける。

「川を活かす」ことが「人が生きる」ことに繋がっていくということを体験的に学び考えていってほしい。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実施	準備等
平成 22 年	4月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施計画の立案</li> <li>・ 広報活動</li> <li>・ 講師・協力スタッフとの打ち合わせ</li> <li>・ 実施場所の下見</li> <li>・ 資料作成</li> </ul>
	5月		
	6月	12日(土) 遡上アユを見つけよう。(魚道の開通時期により 魚道見学会と同時開催の場合有り)	
	7月		
	8月		
	9月	18日(土) ミズヒマワリ駆除作戦	
	10月		
	11月	芥川クリーン作戦	
	12月		
	平成 23 年	1月	
2月			
3月			

\* 遊歩道リバーウォークは期日未定

(2)参加対象者・定員

参加対象者：市民(小学生以上・ただし小学生は保護者同伴)

定員：30名～60名程度

(3)実施内容

<活動> 遡上アユを見つけよう

講師：(横山達也氏・大阪市水道記念館)

遡上アユについての説明

3・4人で投網を打ってもらい遡上アユを見つける。

芥川大橋上手魚道が完成しておれば見学会をかねる。

参加者は見学し、説明をうける。希望者は川に入ってもらおう。

参加者との質疑

当日のプログラム

9:30 集合

10:00 河川レンジャーの挨拶・活動の趣旨説明、講師の紹介

10:10 講師のアユについての話

10:30 投網を打つ

11:10 捕獲されたアユ他の魚の説明(講師)

11:40 河川レンジャーによる次回活動紹介・まとめ

11:50 解散

<活動> 「遊歩道リバーウォーク」

講師：(淀川河川事務所・河川レンジャー)

芥川倶楽部傘下団体の代表者を対象に、河口部から津の江公園まで歩き、遊歩道設置の課題を考える。チェックポイントの確認。

国土交通省の芥川改善計画を説明してもらい、芥川の環境改善課題を知る。

< 活動 > 「ミズヒマワリの駆除作戦」

講師：(高田みちよ氏・大阪府茨木土木事務所)

津の江公園付近で、ミズヒマワリの駆除活動を行う。

茨木土木事務所の駆除事業を紹介してもらう。また、高槻市の事業予定を紹介してもらう。

継続的な市民による駆除活動を提起する。

当日のプログラム

- 9:30 集合
- 10:00 河川レンジャー挨拶・活動の趣旨説明、講師の紹介
- 10:10 講師の話、諸注意
- 10:20 駆除活動開始
- 10:50 講師の説明
- 11:45 講師の説明
- 12:00 河川レンジャー挨拶、解散

(4)実施日

6月12日(土)

( と同時開催の場合あり )

未定

9月18日(土)

(5)実施場所

芥川大橋下流付近



芥川河口から津の江公園まで



津の江公園付近



#### (6) 広報募集等

公民館、関連の学校等ピラ配布  
広報たかつき

#### (7) 協力スタッフの人数とその役割

協力スタッフ： たかつき環境市民会議 6名  
芥川倶楽部 2名  
運営補助、安全管理

(8)必要な支援内容

< 活動 >

水道記念館：淡水魚資料・投網、

芥川倶楽部：投網・タモ網

国土交通省・資料

< 活動 >

国土交通省からの魚道説明

< 活動 >

検討中

< 活動 >

国交省・大阪府茨木土木事務所への依頼検討中

(ミズヒマワリの処分を初め)

(9)活動における河川レンジャーの役割

趣旨説明・挨拶・講師紹介          運営全般

講師、スタッフとの打ち合わせ          下見

案内ビラ、資料作成          会場の確保

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

「遡上アユを見つけよう」は芥川の川づくりの原点だと思っている。毎年実施すべきとも考える。

ミズヒマワリの駆除は、芥川のみならず淀川ワンドへの影響も考えていかなければならない。今年度は、出来るだけ多くの団体からの会員参加を募り、今後の芥川の生態系保全活動の機軸の一つにしたい。

「遊歩道リバーウォッチング」を2年続けて実施してきた。今年度は一般参加者というより、各団体の代表者に現状を把握してもらい、課題を明確にしながら、遊歩道設置に向けての行政との話し合いの基盤を作りたい。

(11)活動を行ううえでの課題等

活動参加者への河川との関わりの課題提起。

芥川下流部、及び淀川への関心をどう引き起こすか。

小、中学生の参加を何とか拡げていきたい。

活動の地域化・市民協働化に向けての基盤作りを目指したい。

(12)その他

## 1.4 小学校での啓発活動

### (1)活動目的

詳細は年度が変わるまでわからないとのこと。

芥川・淀川についての授業・実際の河川体験指導を通して、人の生活や生き物にとって河川の意味を考えさせたい。

また、川体験・生き物との出会いの面白さを実感的に知ってほしい。

## 1.5 下流部クリーン作戦

### (1)活動目的

芥川大橋以南のゴミの量が多く、次郎四郎橋以南の右岸川にはわざわざゴミを捨てている人がいる。

市民の注目度が少ない場所ではあるが、近隣の地域(自治会)や学校に働きかけを行い、クリーンキャンペーンをやってみたいと思う。

芥川下流部沿川住民に「川を美しく」というところから関心を持ってもらい、モラルの向上を図っていきたい。来年度は実施時期の変更も考えながら、参加団体の拡大・多くの市民参加を目指したい。

## 2. 高槻出張所管内河川レンジャー 吉川 正之

### 2.1 活動テーマと活動分野

高槻出張所管内を活動エリアとする吉川レンジャーは以下の活動テーマのもと、6つの活動を実施します。

平成 22 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川啓発活動	稲作体験学習
	水辺スケッチ
	水辺ウォーク
防災活動	土のう積み体験
河川啓発活動	淀川たこあげ大会
	淀川生きもの観察

## 2.2 稲作体験学習

### (1)活動目的

淀川の豊富な水が存在することにより、飲み水をはじめ農業用水、工業用水等に利用できています。

稲作を体験することにより、水の大切さを実感し、川を大事にして、ゴミの不法投棄はしないことは勿論、クリーン活動をするなど川に愛情を持って貰うことの効果が期待できる。子供時代の体験は大人になっても心に残ると思われる。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		実施計画、協力スタッフの手配
	5 月	15 日(土) 第 1 回学習会 播種	
	6 月	10 日(木) 第 2 回学習会 田植	
	7 月	第 3 回学習会 水管理	
	8 月	第 4 回学習会 水管理	
	9 月	第 5 回学習会 水管理	
	10 月	12 日(火) 第 6 回学習会 稲刈	
	11 月		
	12 月	第 7 回学習会 感謝祭	
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

(2)参加対象者・定員

- ・参加対象者:柱本小学校5年生、先生、保護者
- ・定員:70人(児童、先生、保護者)

(3)実施内容

- ・小学校の総合学習と一体となった稲作体験学習
- ・淀川の水利用についての説明

総合学習としての小学生が参加できるのは第2回学習会の田植と第6回の稲刈となる。

その他の学習会は保護者、協力者で実施し、後日パワーポイントでの室内学習とする。

当日のプログラム

・田植体験

- 10:00 集合
- 10:10 先生、河川レンジャーの挨拶、協力者紹介
- 10:15 魚調査
- 10:20 協力者による植え方の指導
- 10:30 体験開始
- 12:00 終了・解散

・稲刈体験

- 10:00 集合
- 10:10 先生、河川レンジャーの挨拶、協力者紹介
- 10:20 協力者による稲刈の指導
- 10:30 体験開始
- 12:00 終了・解散

・感謝祭 地元・老人施設でのもちつき大会

- 10:00 集合
- 10:10 先生、河川レンジャーの挨拶・自治会、実行組合、子供会、PTA、協力者紹介
- 10:20 協力者によるもちつきの指導
- 10:30 体験開始
- 12:00 終了・解散

(4)実施日

- ・ 田植体験学習  
6月10日(木)
- ・ 稲刈体験学習  
10月12日(火)
- ・ 感謝祭  
12月

(5)実施場所

高槻市柱本(高碓氏 農地)



(6)広報・募集方法

高槻市教育委員会、柱本小学校、神安土地改良区、柱本農業実行組合、柱本自治会 高碓氏と協議の上決定

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

- ・ 協力スタッフ 神安土地改良区 2名
- 農業実行組合 2名
- NP0よどがわ・水研究会 2名
- 教育委員会 1名
- 高槻市農林課 1名
- 高槻市農業委員会 1名

(8)必要支援内容

- ・ 必要資料の印刷
- ・ 必要物品(のぼり等)の貸与
- ・ 傷害保険

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

- ・ 実施計画の立案
- ・ 高槻市教育委員会、柱本小学校等との打合せ
- ・ 協力スタッフの手配、打合せ
- ・ 農地提供者の手配
- ・ 当日の運営

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

田植、稲刈りのみの参加。保護者の参加なし。水管理も含め、もっと参加して欲しい。

(11)活動を行ううえでの課題等

費用面での調達(感謝祭のモチ代、苗代)

(12)その他

## 2.3 水辺ウォーク

### (1)活動目的

水辺のウォーキングにより、水についての関心を深めてもらう。

歴史文化を知ってもらうことによって川を大切にする意識を高める。

5月

高槻を流れる淀川をはじめ芥川は古くから歴史文化が培われてきました。そして摂津峡をはじめ鶴殿など、四季を通じて美しい自然に恵まれています。こんなすばらしい街「高槻」をウォークします。今回は摂津峡を訪ねます。

11月

淀川は昔から交通の手段として舟運が発達していました。三十石舟が盛んだった昔をしのび、京都伏見から大阪の八軒家浜までをその土地の歴史文化を訪ねてウォークします。今回は枚方宿を訪ねます。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4月		広報、準備(前年度より開始)
	5月	15日(土)活動実施	
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	11月	28日(日)活動実施	
	12月		
平成 23 年	1月		
	2月		
	3月		

(2)参加対象者・定員

- ・ 一般市民 30 名

(3)実施内容

「たかつき水辺百景」のウォークと三十石舟が往来した伏見から八軒家浜までをウォークします。

(4)実施日

5月15日(土) および 11月28日(日)

(5)実施場所

5月

神峰山寺口(バス停)13:00～神峰山寺～上の口～摂津峡～摂津口～下の口(バス停) 約4.5km

むかし神峰山寺まで行くには大阪からは枚方で三島江(神峰山寺の大燈籠がある)まで舟で渡り、そこから歩いて参拝した。(約11km)



11月

枚方市駅(13:00)～鍵屋資料館～旧街道(堤防から淀川に沿って)～淀川資料館(解散)



(6) 広報・募集方法

高槻市、枚方市 各自治体の広報、  
コミュニティ誌「きつつき」等に案内記事の掲載を依頼

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

NPO よどがわ水研究会 1名 誘導説明  
枚方市観光ボランティア 3名 案内(11月)  
高槻市都市政策室 1名 誘導案内(5月)  
高槻市観光協会 1名 誘導案内(5月)

(8) 必要支援内容

・淀川資料館学芸員による案内

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・各関係機関とのとの打合せ
- ・協力スタッフの手配、打合せ
- ・各自治体・関係機関への広報依頼
- ・当日の運営

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

特になし

(11)活動を行ううえでの課題等

鍵屋資料館入館料

(12)その他

かじか荘での入浴希望者は各自自己負担(11月)

## 2.4 水辺スケッチ

### (1)活動目的

淀川や芥川の景観を観察することで川がはたしている役割を実感し、いかに自然環境を大切にすることが大事であるか理解を深める。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月	19 日(月)～23 日(金)活動実施	広報、準備
	5 月		
	6 月		
	7 月		
	8 月		
	9 月		
	10 月		
	11 月		
	12 月		
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

### (2)参加対象者・定員

- ・ 一般市民

### (3)実施内容

高槻市内の水辺の景観を「たかつき水辺百景」として、日本画、洋画、俳画、写真の 4 部門を展示します。(約 120 点)

### (4)実施日

4 月 20 日(火)から 23 日(金)まで展示 10:00～18:00

最終日は 16:00 まで (搬入は 4 月 19 日 10:00～)

(5)実施場所

高槻市生涯学習センター1F 展示ホール



(6)広報・募集方法

高槻市の広報(3月号)、コミュニティ誌等に依頼

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

- ・協力スタッフ 高槻市都市政策室 3名 設営、受付、とりまとめ
- 高槻市観光協会 とりまとめ
- 講師陣 指導、とりまとめなど総合支援

(8)必要支援内容

スタッフ等の協力、展示に要する費用 会場費、印刷費、備品 その他

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案 ・各関係機関とのとの打合せ
- ・協力スタッフの手配、打合せ
- ・各自治体・関係機関への広報依頼 ・期間中の運営

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

今年度が初めて

(11)活動を行ううえでの課題等

(12)その他

## 2.5 土のう積み体験(みんなで水防を体験しよう)

### (1)活動目的

水防の重要性を認識してもらう。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平 成 22 年	4 月		
	5 月		広報、準備
	6 月		広報、準備
	7 月	活動実施	
	8 月		
	9 月		
	10 月		
	11 月		
	12 月		
平 成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		



(8) 必要支援内容

- ・ 淀川河川事務所
  - 土のうの土の提供(検討中)
  - 土のう作りに必要な道具の貸与(検討中)
- ・ 淀川資料館
  - 講師(裕永 正光氏)の講師協力

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・ 実施計画の立案
- ・ 各関係機関とのとの打合せ
- ・ 協力スタッフの手配、打合せ
- ・ 各自治体・関係機関への広報依頼
- ・ 当日の運営

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年はインフルエンザ流行で実施できなかったため今年度が初めて。

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

## 2.6 淀川たこあげ大会

### (1)活動目的

親子に向けて、淀川に親しんでもらい川を大切に作る心を養う。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		
	5 月		
	6 月		
	7 月		
	8 月		
	9 月		
	10 月		
	11 月		
	12 月		広報、準備
平成 23 年	1 月	9 日(日)実施	広報、準備
	2 月		
	3 月		

(2)参加対象者・定員

- ・一般市民

(3)実施内容

制作からたこあげまで。竹は上流で生えているものを使用。

(4)実施日

1月9日(日)

(5)実施場所

たこの制作...三箇牧公民館

たこあげ...淀川河川公園(三島江地区)



(6)広報・募集方法

高槻市の広報、コミュニティ誌等に依頼

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

- ・協力スタッフ 地元自治体、子供会へ依頼

(8) 必要支援内容

- ・ 淀川河川事務所

上流で生えている竹の提供(検討中)

たこの制作に必要な材料(たこ糸、紙等)や備品(はさみ等)の提供、貸与

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・ 実施計画の立案
- ・ 各関係機関とのとの打合せ
- ・ 協力スタッフの手配、打合せ
- ・ 各自治体・関係機関への広報依頼
- ・ 当日の運営

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年はインフルエンザ流行で実施できなかったのが今年度が初めて。

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

## 2.7 淀川生きもの観察

### (1)活動目的

自然と接することにより環境について考えてもらう。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		
	5 月		
	6 月		
	7 月		
	8 月		
	9 月	26 日(日)活動実施	
	10 月		
	11 月		
	12 月		
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

### (2)参加対象者・定員

一般市民

### (3)実施内容

バードウォッチング、簡易なパックテスト、清掃活動

(4)実施日

9月26日(日)

(5)実施場所

淀川河川公園(三島江地区)



(6)広報・募集方法

高槻市の広報、コミュニティ誌等に依頼

(7)協ラストッフ等の人数とその役割

協ラストッフ 高槻野鳥の会 観察指導、解説

他の河川レンジャーの協力も得たい

(8)必要支援内容

・ 淀川河川事務所

のぼり等の貸与

バックテストの提供

・ 高槻野鳥の会

観察の指導、フィールドスコープの貸与

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・各関係機関とのとの打合せ
- ・協力スタッフの手配、打合せ
- ・各自治体・関係機関への広報依頼
- ・当日の運営

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点  
インフルエンザ流行のため中止

(11)活動を行ううえでの課題等

(12)その他

### 3. 高槻出張所管内河川レンジャー 酒井 信行

#### 3.1 活動テーマと活動分野

高槻出張所管内を活動エリアとする酒井レンジャーは以下の活動テーマのもと、3つの活動を実施します。

##### 活動テーマ

河川利用に対する地域の住民と安全・安心のための「抑止力の輪」をつくり、  
また、自然再生への住民参加の仕掛けづくりを行い、  
楽しく遊び学べる淀川をめざします！

平成 22 年度 活動分野と活動名

活動分野	活 動 名
河川の適正な利用の推進を図る活動	
河川利用者への安全指導	子供の水辺での安全指導
不法投棄の状況把握	不法・迷惑行為の監視・指導
川づくり、まちづくりへの参画・支援活動	自然再生への住民参加の仕掛けづくり

### 3.2 子供の水辺での安全指導

#### (1)活動目的

淀川は、都市における貴重なオープンスペース等の憩いの空間ではありますが、増水による急な水位上昇や複雑な流れ、速い流れ等様々な危険が内在する自然特性を有していることから、河川利用者一人一人が河川利用における自己責任や河川の安全利用のために留意すべき事項、危険を回避する手段等を認識し、快適かつ安全に利用することが重要であります。

このため、安全な河川利用の妨げになる危険箇所を把握し、河川の安全な利用を推進するために、チラシ、安全利用ハンドブック等により、河川利用者への安全指導を行います。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月	水辺の危険箇所調査	河川、公園管理者からの情報収集
	5 月	GW、休日：水辺での安全指導	GW、春季、夏季実施分： ・実施計画の立案 ・河川、公園管理者との調整
	6 月	休日：水辺での安全指導	
	7 月	休日：水辺での安全指導	夏休み出前・押しかけ講座： ・既存イベントとの打ち合わせ
	8 月	夏休み： 出前・押しかけ講座の実施	
	9 月	休日：水辺での安全指導	秋季実施分： ・実施計画の立案 ・河川、公園管理者との調整
	10 月	休日：水辺での安全指導	
	11 月	危険箇所マップの作成	
	12 月	危険箇所マップの作成	
平成 23 年	1 月	危険箇所マップの作成	
	2 月	危険箇所マップの作成	
	3 月	危険箇所マップの作成	

## (2)参加対象者・定員

### 1)水辺での安全指導

- ・参加対象者：主に子供を対象に指導

### 2)出前・押しかけ講座

- ・参加対象者：毎年開催している既存イベントへの参加者

## (3)実施内容

### 1)危険箇所の調査及び河川利用者への安全指導

以下のような視点で危険箇所の調査及び河川利用者への安全指導を行います。

#### 急激な水位上昇に注意

淀川は豪雨などで急に水位上昇することがあります。川際は少しの増水でも浸水します。情報の入手方法を良く確かめ早めに対応することが重要です。

二級河川都賀川の水難事故の教訓を活動時に生かします。

#### 川の流れや特徴に注意

川の水位が普段通りの時でも、川には様々な危険が潜んでいます。複雑な流れや速い流れ、強い水当たり、滑りやすいブロックなどがあります。危険な場所は川の状態によって変化することがあります。また、堰や橋脚のまわりなども流れが変化しやすいものです。

利用の内容に応じ、川の情報を自分の目でよく確かめることが重要です。

#### 堤防の横断に注意

淀川の堤防は道路交通の激しい箇所がたくさんあります。横断の際は十分注意する必要があります。

#### 河川利用者への安全指導の協働者の発掘

河川レンジャー単独での安全指導には限界があることから、日頃の活動時に河川利用者の中から安全指導を共に行ってくれる協働者を発掘し、連携をしながら実施します。

### 2)水辺の危険箇所調査

#### 河川・公園管理者からの情報収集

- ・河川管理者：国土交通省高槻出張所
- ・公園管理者：国土交通省河川公園課

#### 過去の事故事例などを追加調査

- ・自治体、地域住民など

### 3) 河川・公園内の危険箇所調査

調査場所：淀川右岸(高槻市、摂津市)

川・公園巡視員と連携

広域公園巡視員の協力得ながら調査

時や場所によって危険をケース毎に調査

例) 瀬田川洗堰の全開放流時

危険箇所の定義

- ・船着場、水門、砂州などの周辺
- ・過去の事故発生箇所

### 4) 危険箇所マップの作成

安全な河川利用の手がかりとして、河川敷、水際での危険箇所を把握し、安全な利用を推進するため、安全利用マップを作成します。平成 21 年度は概要版を作成しました。

### 5) 水辺での安全指導の実施

春季、夏季：休日(原則第 1、第 3)、GW 及び

秋季：休日(原則第 1、第 3)の雨天時を除きます。

実施場所：淀川右岸(高槻市、摂津市域)の河川敷

時間：原則 10 時～15 時

チラシの配布・説明

(国土交通省淀川河川事務所、河川部水政課作成)

### 6) 出前・押しかけ講座の実施

実施場所：調整中

内容：毎年開催している既存イベントのプログラムと調整し、淀川の水辺での安全、危険箇所及び都賀川の事故などについて説明

## (4) 実施日

### 1) 水辺の危険箇所調査

河川、公園管理者からの情報収集

国土交通省高槻出張所：平成 22 年 4 月から随時

国土交通省河川公園課：平成 22 年 4 月から随時

地域住民などから事故事例の追加調査

平成 22 年 4 月から随時

危険箇所マップの作成

平成 22 年 11 月～平成 23 年 3 月

## 2)水辺での安全指導

### 安全指導

GW：平成22年4月24日(土)～5月9日(日)の休日

春季、夏季：

平成22年5月～7月の休日(原則第1、第3)の雨天時を除く

秋季：

平成22年9月～10月に休日(原則第1、第3)の雨天時を除く

出前・押しかけ講座の実施

既存イベントが実施される日で調整

## (5)実施場所

### 1)水辺の危険箇所調査

調査場所：淀川右岸(高槻市、摂津市域)の河川敷

### 2)水辺での安全指導

GW、春季、夏季、秋季の休日

指導場所：淀川右岸(高槻市、摂津市域)の河川敷

出前・押しかけ講座の実施

既存イベントの実施場所



(6) 広報・募集方法

特に広報は必要としない。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

1) 水辺での安全指導

協力スタッフ：河川巡視員、公園巡視員に具体的な場所などについて協力を要請

2) 出前押しかけ講座の実施

協力スタッフ：既存イベントの主催者に協力を要請

(8) 必要支援内容

国土交通省：

河川・公園巡視員の紹介 河川レンジャーのぼりの借用

河川現況図 チラシの提供

- ・「やくそくをまもって かわでたのしくあそぼう！」 河川部水政課
- ・「川あそびは楽しいけれど こんなところでは、遊ばないでね！」 河川部水政課
- ・「みんなの淀川を、みんなで守ろう！みんなの淀川を守るためのルール」 淀川河川事務所
- ・「ストップ河川水難事故」河川環境管理財団
- ・「水辺の安全ハンドブック」河川環境管理財団

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

1) 水辺の危険箇所調査

河川、公園管理者管理者からの情報収集

河川、公園内の危険箇所調査

危険箇所のマップ調査

2) 水辺の安全指導

GW、春季、夏季、秋季の土日に実施

- ・実施計画の立案

出前・押しかけ講座の実施 既存イベント実施に合わせ実施

- ・実施計画の実施
- ・既存イベント主催者との打ち合わせ
- ・協力スタッフの依頼、打ち合わせ
- ・当日の運営
- ・調査結果のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

当初夏休みに釣り等で子供が淀川に近づくものと考えたが、夏休みは気温が高く、河川敷には日陰が少ないことから、利用者は余り見られなかった。今年度は9月下旬以降に重点を移した活動を考えます。

(11) 活動を行う上での課題等

1) 水辺での危険箇所調査

高槻市、摂津市、地域住民などが把握している淀川での情報

2) 出前・押しかけ講座の実施

水辺での安全指導の講座を受け入れ可能な行政機関、  
小学校、団体などの情報

(12) その他

### 3.3 不法・迷惑行為の監視・指導

#### (1)活動目的

不法・迷惑行為のしにくい地域づくり

ゴミの不法投棄やゴルフの練習等、他人に迷惑となる行為の注意喚起を図るため、早朝・夜間・休日パトロールや地域団体、関係機関、占有者等との合同パトロールの実施をめざすと共に、チラシの配布や看板設置等を行い、不法・迷惑行為のしにくい地域づくりを目指します。

行政だけではできない、新たな仕組みづくり

不法・迷惑行為は人目につかない場所で行われることが多いため、河川利用者や地域団体等の協力による通報連絡体制の確立等、行政だけではできない多様な監視をするための仕組みづくりをめざします。

具体には、日頃の活動時に河川利用者(野鳥観察、釣り、散策者等)とのコミュニケーションの中で協働者を見つける努力をします。

これら協働者による「河川利用見守り隊」を結成し、地域や関係機関、占有者などと仕組みづくりを行ってから、不法迷惑行為の監視・指導を行います。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月	不法・迷惑行為の実態調査	河川・公園管理者からの情報 収集
	5 月	GW:不法・迷惑行為の調査及び 協働者の発掘	GW、春季、夏季実施分： ・実施計画の立案 ・河川・公園管理者との調整
	6 月	休日:不法・迷惑行為の調査及 び協働者の発掘	
	7 月	休日:不法・迷惑行為の調査及 び協働者の発掘	夏休み出前・押しかけ講座： ・実施計画の立案 ・既存イベントとの調整
	8 月	夏休み:出前・押しかけ講座の 実施	
	9 月	休日:不法・迷惑行為の調査及 び協働者の発掘	秋季実施分： ・実施計画の立案 ・河川・公園管理者との調整
	10 月	休日:不法・迷惑行為の調査及 び協働者の発掘	
	11 月	不法・迷惑行為のマップの作成	
	12 月	不法・迷惑行為のマップの作成	
平成 23 年	1 月	不法・迷惑行為のマップの作成	
	2 月	不法・迷惑行為のマップの作成	
	3 月	不法・迷惑行為のマップの作成	

(2)参加対象・定員

1)監視・指導を共に行う協働者の発掘

- ・対象者：清掃ボランティア、野鳥観察者、釣り人など河川、  
公園利用者

2)出前・押しかけ講座

- ・参加対象者：既存イベントの参加者

### (3)実施内容

#### 1)不法・迷惑行為の実態調査

危険行為や危険な利用をしないようにという視点で、不法・迷惑行為の調査を行います。

バイクや堤防のり面を走行すると堤防を傷めます。ゴルフの練習も他の利用者に危険です。また、河川敷でのラジコンやバイクなども騒音や他の人の迷惑がかかりますので、これら迷惑や危険な利用はしないようにする必要があります。

河川・公園管理者からの情報収集

- ・河川管理者：国土交通省高槻出張所
- ・公園管理者：国土交通省河川公園課
- ・過去の不法・迷惑事例などを調査

河川・公園内の不法・迷惑行為の現状調査

- ・調査場所：淀川右岸(高槻市、摂津市域)の河川敷
- ・河川、公園巡視員と連携

時や場所によって行為をケース毎に調査

不法・迷惑行為のマップの作成

#### 2)監視・指導を共に行う協働者の発掘

河川レンジャー単独での監視・指導には問題もあることから、日頃の活動時に河川利用者の中から監視・指導を共に行ってくれる協働者を発掘し連携をしながら実施します。

GW、春季、夏季、秋季の休日(原則第1、第3)雨天時を除く

- ・実施場所：淀川右岸(高槻市、摂津市域)の河川敷
- ・時間：原則早朝又は10時～15時
- ・チラシの配布・説明

(淀川河川事務所、本局河川部、河川環境管理財団作成)

#### 3)出前・押しかけ講座の実施

- ・実施場所：調整中
- ・実施内容：毎年開催している既存イベントのプログラムと調整し、高水敷、河川公園における利用ルールとマナーについて説明

#### (4)実施日

##### 1)不法・迷惑行為の実態調査

河川、公園管理者からの情報収集

国土交通省高槻出張所：平成22年4月から随時

国土交通省河川公園課：平成22年4月から随時

危険箇所マップの作成

平成22年11月～平成23年3月

##### 2)監視・指導を共に行う協働者の発掘

協働者の発掘

GW：平成22年4月24日(土)～5月9日(日)の休日

春季、夏季：平成22年5月～7月の休日(原則第1、第3)の  
雨天時を除く

秋季：平成22年9月～10月に休日(原則第1、第3)の  
雨天時を除く

##### 3)出前・押しかけ講座の実施

既存イベントが実施される日で調整

#### (5)実施場所

1)不法・迷惑行為の実態調査 淀川右岸(高槻市、摂津市域)の河川敷

2)監視・指導を共に行う協働者の発掘

淀川右岸(高槻市、摂津市域)の河川敷

3)出前・押しかけ講座の実施 既存イベントの開催場所



(6) 広報・募集方法

特に広報は必要としない。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

1) 不法・迷惑行為の実態調査

協力スタッフ：河川巡視員、公園巡視員に具体的な場所などについて協力を要請

2) 監視・指導を共に行う協働者の発掘

協力スタッフ：河川利用者とのコミュニケーションの中から協働者を見つけだし「河川利用見守り隊」の結成を目指します。

3) 出前押しかけ講座の実施

協力スタッフ：既存イベントの主催者に協力を要請

(8) 必要支援内容

国土交通省：

レンジャーのぼりの借用

チラシの提供

・「河川敷での迷惑行為 危険行為 やめて!!」

近畿地方整備局河川部

・「美しい川と海取り戻そう」 近畿地方整備局

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

1) 不法・迷惑行為の実態調査

河川、公園管理者管理者からの情報収集

不法・迷惑行為の現状調査

不法・迷惑行為マップの作成

2) 監視・指導を共に行う協働者の発掘及び「河川利用見守り隊」の結成

日頃の活動時に河川利用者(野鳥観察、釣り、散策者等)とのコミュニケーションの中で協働者を見つける努力をします。

これら協働者による「河川利用見守り隊」を結成し、地域や関係機関、占有者などと仕組みづくりを行ってから、子供の水辺での安全指導及び不法迷惑行為の監視・指導を行います。

3)出前・押しかけ講座の実施 既存イベント実施に合わせ実施

- ・実施計画の実施
- ・既存イベント主催者との調整
- ・協力スタッフの依頼、打ち合わせ
- ・当日の運営
- ・調査結果のまとめ

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年度は、日頃の活動時に河川利用者の中から、監視・指導を共に行ってくれる協働者の発掘を試みたが、河川レンジャーとは何をすることが十分説明ができず、十分発掘ができませんでした。

今年度は、高槻市、摂津市などの協力も得ながら発掘を考えて行きます。

(11)活動を行う上での課題等

1)水辺での危険箇所調査

高槻市、摂津市、地域住民などが把握している淀川での情報の収集

2)出前・押しかけ講座の実施

水辺での安全指導の講座を受け入れ可能な行政機関、小学校、団体などの情報の収集

(12)その他

### 3.4 自然再生への住民参加の仕掛けづくり

#### (1)活動目的

平成 21 年度に実施した水辺の危険箇所、不法・迷惑行為の実態調査及び水辺での安全指導など、日頃の活動時に河川利用者の中から監視・指導を共に行ってくれる協働者と、「自然再生への住民参加の仕掛けづくり」を目標に、たまりの改良工事の見学、モニタリング、意見交換会を行い、河川整備への理解を深めます。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		・実施計画の立案 ・広報の準備 ・協力スタッフの手配・講師依頼
	5 月		・広報活動 ・資料作成 ・河川、公園管理者との打合せ ・講師、協力スタッフとの打合せ
	6 月	第 2 回三島江切り下げ区域 の利用意見交換会	・資料作成 ・講師、協力スタッフとの打合せ ・講師、協力スタッフとのふりかえり
	7 月		
	8 月		
	9 月		・実施計画の立案 ・広報の準備 ・協力スタッフの手配・講師依頼
	10 月		・広報活動 ・資料作成 ・河川、公園管理者との打合せ ・講師、協力スタッフとの打合せ
	11 月	第 3 回三島江切り下げ区域 の利用意見交換会	・資料作成 ・講師、協力スタッフとの打合せ ・講師、協力スタッフとのふりかえり
平成 23 年	12 月		
	1 月		
	2 月		
	3 月		

## (2)参加対象者・定員

参加対象者： 一般参加者 発掘された監視・指導を共に行う  
協働者及び地域住民 行政関係者 河川・公園管理者 学識経験者  
定員： 40人

## (3)実施内容

### 1)主旨

淀川では河川敷の切り下げ等河川形状の修復の取り組みにより、水陸移行帯等を保全・再生することで、生態系のネットワークを図っています。三島江河川敷切り下げ地区は、自然環境の特性を損なわない中で、散策や観察など自然と触れ合う公園利用を行う「水辺環境保全・再生ゾーン」となっています。

意見交換会では、「水辺環境保全・再生ゾーン」の利用のあり方について、野鳥、生物、植物等のモニタリング調査を通じて意見を交換します。

### 2)意見交換会テーマ(案)

利用マナーについて

散策や観察などを通じて自然との触れ合いが適切に行われ、自然環境の保全・再生を妨げられないことがないように、利用マナーについて意見交換をします。

例)一般公園利用者の立ち入り禁止について 散策、野鳥観察 など  
利用ルールについて

河川形状の修復過程において、利用可能な場所や時間、人数を制限するなどの利用ルールについて意見交換をします。

例)河川公園としての利活用方法について

野鳥観察、子供の環境学習 など

### 3)当日のプログラム

13:00	集合、開会
13:30	河川レンジャーの挨拶・活動の主旨説明、講師の紹介
13:40	淀川河川事務所による工事・利用の目的など説明
14:00	アドバイザーによるモニタリング調査の方法など説明
14:15	モニタリング調査の実施
15:00	アドバイザーによる効果検証、意見交換会 (鳥飼サービスセンター)
15:50	アンケート
16:00	解散

(4)実施日

第2回：平成22年 春季(6月)

第3回：秋季(11月)

(5)実施場所

実施場所：三島江野草地区、意見交換会は淀川河川公園サービスセンター

理由：自然再生工事の実施場所



(6)広報・募集方法

- ・ 淀川管内河川レンジャーNewsへの掲載要請
- ・ 各ホームページへの掲載を要請

淀川管内河川レンジャー、淀川河川公園、高槻市、摂津市

- ・ 淀川河川公園広報誌「よしぶえ」への掲載を要請
- ・ 高槻市、摂津市への広報誌への掲載を要請

(7)協力スタッフ等の人数とその役割

- ・ 協力スタッフ：5名(運営補助、写真撮影、議事等の記録)  
発掘された監視・指導を共に行う協働者へ協力要請
- ・ 講師：アドバイザー1名 淀川河川事務所への協力要請

(8)必要支援内容

- ・国土交通省：河川管理者
  - 学識経験者の紹介
  - 配布資料の印刷
  - 必要物品(レンジャーのぼりなど)貸与
  - 広報誌 高槻市、摂津市
  - 傷害保険
  - 河川レンジャーNewsへの掲載を要請
  - 各ホームページへの掲載を要請
  - (淀川管内河川レンジャー、高槻市、摂津市)
  - 高槻市、摂津市の広報誌への掲載を要請
- ・国土交通省：公園管理者
  - 会場の確保...淀川河川公園鳥飼サービスセンター会議室(無料)
  - 淀川河川公園ホームページへの掲載を要請
  - 淀川河川公園広報誌「よしぶえ」への掲載を要請

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・講師、協力スタッフの依頼、打ち合わせ
- ・河川、公園管理者との打ち合わせ
- ・広報活動
- ・当日の運営
- ・アンケートの作成、取りまとめ
- ・報告書の作成

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

冬季(1月23日)の開催になった為、切下げ区域の植物のモニタリング、生物調査が十分できなかった。また、冬季の河川敷での意見交換会は寒さ対策に問題がありました。今年度は生物の活動が盛んな秋までに開催します。

(11)活動を行ううえでの課題等

今年度開催した際の参加者の多くは、河川敷での開催を希望していました。河川敷での開催はテントの設営など費用の面で課題があります。

(12)その他

#### 4. 高槻出張所管内河川レンジャー 中川 ゆり子

##### 4.1 活動テーマと活動分野

高槻出張所管内を活動エリアとする中川 ゆり子レンジャーは以下の活動テーマのもと、2つの活動を実施します。

活動テーマ

防災の大切さを地域に、川と人とを結ぶ活動

平成 22 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
防災、地域で守る取り組み	誰もが知っている土のう造り
河川利用者の安全利用	人との対話

## 4.2 土のう造りと工法

### (1)活動目的

誰でもが知っている土のう造りをめざします。土のうの造り方の基本を知る事により様々な所で利用が可能と思います。学生さんの参加により、其々の出身地に帰り廻りの方々に知らしめ、又、参加者が家庭を持った折、この淀川での経験を生かして欲しい。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		実施計画の立案、会場の手配、協力スタッフの手配、広報への連絡、講師依頼、協力スタッフとの打ち合わせ
	5 月		
	6 月	6 月 2 日(水) 土のう造りと工法	
	7 月		
	8 月		
	9 月		
	10 月		
	11 月		
	12 月		
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

### (2)参加対象者・定員

参加対象者： 関西大学学生、一般

定員： 50～70 人、一般で 100 名

### (3)実施内容

講師：水防について

土のう造りと工法

水ふうせん投げ(時間調節の為)

9:00 現地集合

9:15 河川レンジャーの挨拶、活動の趣旨説明、講師紹介

9:30 講師より水防について講演

10:00 3ブロックに分かれて講堂

11:30 河川レンジャー終了の挨拶

11:50 アンケート

12:00 解散

### (4)実施日

土のう造りと工法

実施日 平成22年6月2日(水)

大半が大学生である為、中止、順延は考えていないが予備日としては  
7月21日(水)

### (5)実施場所

実施場所：鳥飼下地区、河原通門

理由：鳥飼仁和寺駅、モノレール、バス(検討中)

駅に近く交通の便良し



(6) 広報・募集方法

淀川管内河川レンジャー ホームページへの募集案内の記載  
(4月1日～5月20日)  
摂津市への広報誌(4月号)への募集案内  
検討中

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ、講師 検討中

(8) 必要支援内容

土のう造りの道具一式  
資料、アンケート用紙の印刷  
淀川レンジャーのぼりの使用  
その他、検討中

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案  
講師、協力スタッフの手配、打ち合わせ  
会場の手配  
資料の作成  
広報活動  
当日の運営  
アンケート結果のまとめ  
その他、検討中

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

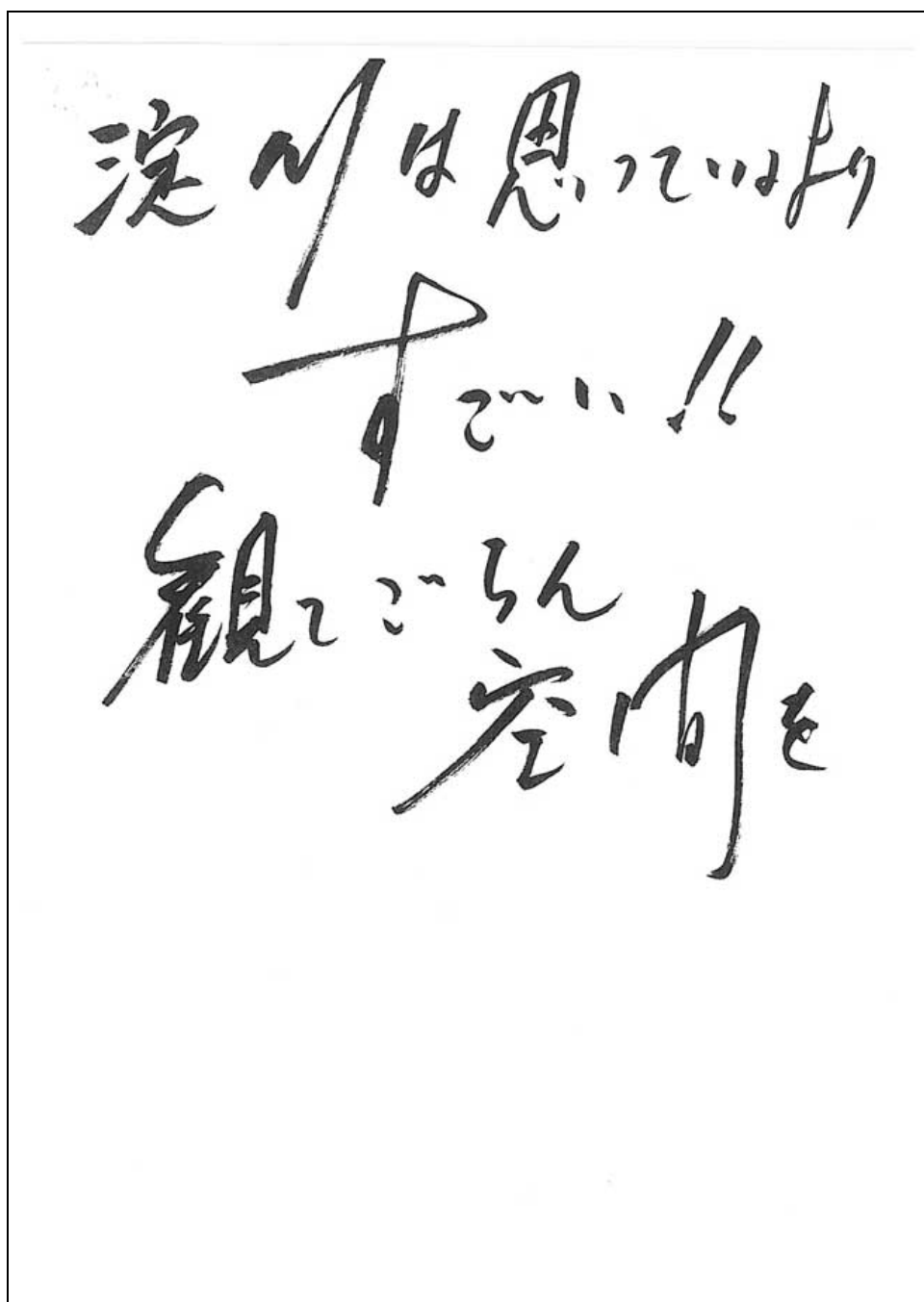
初年度の為、特になし

(11) 活動を行ううえでの課題等

時間調整が上手くいくか?  
3ブロックに分かれて時間配分を水ふうせん投げで調節。  
その他、検討中

(12)その他

今回参加して下さった学生が地方に帰り得た学びを広めて頂きたい。  
防災活動の経験者の助言を頂きたい。  
地方の方の防災についての(生の声)が大切であり参加を御願いしたい。



### 4.3 人と河川との対話(川と大地の中で遊んで観ませんか)

#### (1)活動目的

車椅子を利用する方々にとっては、川を観るという事は車の中からが多いと思いますが、利用設備等が整っている淀川河川で心から楽しんで頂きたい。

河川から観た空や町並みは今迄の目線ときっと違うと思います。広いキャンバスに自分達の動いた(跡)を残し喜びを心に(刻)んで、その後の動きに生かして頂きたい。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		実施計画の立案、会場手配
	5 月		協力スタッフの手配
	6 月		広報準備
	7 月		
	8 月		
	9 月		協力スタッフとの打ち合わせ
	10 月	日は未定(土、日を除く)	
	11 月		
	12 月		
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

#### (2)参加対象者・定員

参加対象者： 車椅子の利用者

定員： 50 人

### (3)実施内容

車椅子に色が付いたペットボトルとスポンジを用意して椅子が通った(跡)にラインが付く様にする。

検討中

- 9:00 集合
- 9:20 河川レンジャーの挨拶、活動の趣旨説明、スタッフの紹介
- 9:30 活動開始
- 11:40 河川レンジャー終了の挨拶
- 11:50 アンケート
- 12:00 解散

### (4)実施日

(人と河川との対話)

実施日：未定

### (5)実施場所

実施場所：鳥飼下地区、鳥飼サービスセンター

理由：設備が整っている



### (6)広報・募集方法

淀川管内河川レンジャー ホームページへの募集案内の記載  
摂津市への広報誌(6月1日～ ? )

検討中

- (7)協力スタッフ等の人数とその役割  
協力スタッフ、講師 検討中
- (8)必要支援内容  
国土交通省：館内利用  
000の会への募集案内の送付  
その他：検討中
- (9)活動における河川レンジャーの活動内容  
実施計画の立案  
協力スタッフの手配  
会場の手配  
資料の作成  
広報活動  
当日の運営  
アンケート結果のまとめ  
その他、検討中
- (10)昨年度の活動を踏まえての改善点  
初年度の為、特になし
- (11)活動を行ううえでの課題等  
怪我の無い様に細心の注意  
心から楽しんで頂く様にベストを尽くす  
テントの飢えの白い布について考慮  
色の材料について考慮、研究  
その他、検討中
- (12)その他  
淀川河川レンジャーの動きが皆様の心に残る様に。  
参加して良かったと言う声が広がります様に。

所は大地の中心  
遊んで観世心

天を仰げば  
雲が行き  
個性の流氷

## 5. 山崎(大阪府域)管内河川レンジャー 谷岡 寿和子

### 5.1 活動テーマと活動分野

山崎出張所管内を活動エリアとする谷岡レンジャーは以下の活動テーマのもと、3つの活動を実施します。

活動テーマ

人が集う、淀川。

#### 平成 22 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
河川の環境保全を図る活動	鵜殿のヨシ原で調査、観察会
河川の環境保全を図る活動	河川美化 ヨシを刈って集めてヨシ原を育てよう
川づくり、まちづくりへの参画・支援活動	「ヨシ原保全工事」見学会

## 5.2 鵜殿のヨシ原で調査、観察会

### (1)活動目的

山崎出張所(大阪府域)管内の高水敷は上流から、下記で構成される。

淀川河川公園・島本地区 水無瀬ゴルフ場 鵜殿のヨシ原  
前島土砂仮置き場

川の環境保全を図る活動(環境啓発)として、場所は鵜殿を選びました。

理由は、河川事務所の保全事業が行われている、流域住民の関心が高いからです。目的は、自然環境の理解、動植物の保護、希少種への注視活動を通じて、川の自然環境保全の活動に流域住民が関わられる機会を増やし、その意欲を高めることです。そして住民が参加する川の環境保全活動が、地域に広がることを期待します。

### 平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月	・ 調査、観察会	・ 実施計画の立案 ・ 広報準備 ・ 講師依頼 ・ 協力スタッフの手配 ・ 広報活動 ・ 資料作成 ・ 講師、スタッフと打ち合わせ ・ 実施 ・ ふりかえり
	5 月	・ 調査、観察会	同 上
	6 月		
	7 月		
	8 月		
	9 月	・ 調査、観察会	同 上
	10 月	・ 調査、観察会	同 上
	11 月		
12 月	・ 調査、観察会	同 上	
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

(2)参加対象者・定員

- ・参加対象者:運営会議対象区域内の流域住民(小学生は保護者同伴)
- ・定員:30人  
スタッフの数、鵜殿の観察通路、堤防の細長い形状により設定

(3)実施内容

調査・観察会の内容は、鵜殿ヨシ原の自然と生き物を調べます。その成果は、自然と生き物のマップや冊子などを住民参加で作成し、レンジャー活動、高槻市や地域住民が行う環境や地域活動の機会などで発表を行います。内容は、観察に加え、調査(ヨシの生育、希少種についてなど)や保全活動(つる草の芽生え抜き、オギの芽生え刈り)などの内容を増やし、「住民が参加する川の環境保全活動」を、地域に広げていきたい。

- ・時間:10時～15時

(鵜殿のヨシ原の広さ、活動に要する時間から設定)

- ・4月

希少植物 トネハナヤスリ、ノウルシは、何故、鵜殿で生息できるのか?

- 5月

ヨシと並ぶ主要な植物、オギやツル性植物を知って、ヨシを育てよう。

- 9月

鳴く虫の音と姿、その生息環境を知ろう。(時間は午後5時～8時)

- 10月か11月

ヨシとオギの植物分布は? 堤防から観察、鵜殿を歩いて調べよう。

- 12月

保全事業:導水路と切り下げ、自然や生きものはどのように変わったのか?

- ・調査活動について:平成20年度から2つの「河川レンジャー調査区」を設置し、毎週1回(金)に地域住民参加で行っている。活動内容は、ヨシの成長測定、植物調査、比較育成(ヨシ・オギ区画とヨシ区画)、ツル性植物を抜いてヨシを育てるなど。

写真:左から、2つの「調査区」、調査区で増加したヨシ、ヨシの測定の様子



#### (4)実施日

実施日:実施月の中旬～下旬を予定。講師・協力スタッフと相談し実施  
2ヶ月前に決定。

雨天決行、小雨の場合は鵜殿にて観察会を実施大雨時は、時間を10  
時～12時に変更し、山崎出張所内の鵜殿保全室にて室内講座で実施。

#### (5)実施場所

実施場所:鵜殿のヨシ原

理由:河川事務所の保全事業が行われている、住民の関心が高いこと、  
山崎出張所の前にあり、雨天時対応や室内講義などができること。



山崎出張所、  
鵜殿ヨシ原

#### (6)広報・募集方法

- ・淀川管内河川レンジャー ホームページへの募集案内の掲載
- ・淀川管内河川レンジャー レンジャーNewsへの募集案内の掲載
- ・高槻市、島本町の広報(ホームページ)への募集案内の掲載依頼をする
- ・高槻市、島本町の公民館などの公共施設、募集案内チラシの設置、配布
- ・近隣住民への回覧板などで、募集案内
- ・申込締切日:いずれも実施日の3～4日前

#### (7)協力スタッフ等の人数とその役割

小山弘道氏(淀川環境委員会委員)鵜殿クラブ、地元住民など、  
人数は3～4名、役割は説明や運営補助。

(8)必要支援内容

- ・国土交通省：  
講師、協力スタッフの確保      資料の収集      配布資料の印刷  
募集案内の送付      物品貸与、提供。
- ・周辺市町村：広報、資料の収集

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案    ・講師、協力スタッフの依頼、打合せ
- ・広報活動    ・当日の運営    ・報告作成

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・参加者の感想によると、調査や保全活動の内容が好評であった、そのため、今年度は調査(ヨシの生育、希少種について)や保全活動(つる草の芽生え抜き、オギの芽生え刈り)などの内容を増やし、「市民が参加する川の環境保全活動」を地域に広げていきたい。

(11)活動を行ううえでの課題等

- ・参加者が観察会に参加された後、鵜殿ヨシ原に興味をもたれ、継続的に活動を続けたいと要望があった。その為、金曜日の調査・保全の活動への参加を案内した。

この活動はレンジャーと鵜殿クラブが協力して行っている。

他に、鵜殿ヨシ原研究所の協力を得て、火曜日の活動への参加も案内した。いずれも、地元住民の参加がある。

他の曜日への参加希望も有るので、地元住民の協力スタッフを増やして、継続的な活動希望の声に答えられるようにしたい。

(12)その他

特にありません。

### 5.3 河川美化 ヨシ・オギを刈って集めて、ヨシ原を育てよう

#### (1)活動目的

今年10月に生物多様性条約の第10回締約国会議(COP10)が名古屋市で開催。4つの基本戦略の一つに「地域における人と自然の関係を再構築する」がある。

鵜殿のヨシ原は、里山と同じように、人が関わり保ってきた自然である。その方法には、ヨシ刈り、ヨシ原焼き、ヨシの利用がある。

河川美化は除草活動、清掃活動。ヨシを刈って利用すれば、焼かなくて済む。

目的は、ヨシ刈り、ヨシの利用を行うことを通じて、「人による川の自然の管理」を行うことです。そして、地域における人と川の関係の再構築を期待します。

平成22年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成22年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		・実施計画の立案
	9月		・広報準備 ・講師依頼
	10月		・協力スタッフの手配
	11月		・広報 ・打ち合わせ
	12月		・広報 ・下見、打ち合わせ ・場所づくりの準備
平成23年	1月		・場所づくり ・広報活動
	2月	12日(土)頃 ヨシを刈って集めて ヨシ原を育てよう	・場所づくり・広報 ・資料作成 ・下見、打ち合わせ ・実施 ・ふりかえり
	3月		

(2)参加対象者・定員

- ・参加対象者:運営会議対象区域内の地域住民(小学生は保護者同伴)
- ・定員:20人～90人(スタッフの数、用意できる場所の広さ、設備から設定)

(3)実施内容

- ・時間:10時～15時  
(鵜殿のヨシ原の広さ、活動に要する時間から設定)
- ・内容:趣旨説明、ヨシ原の自然、  
ヨシ刈りヨシ集めの説明および観察、まとめ。
- ・ヨシ刈り:混生するヨシ・オギを事前に刈り倒す、  
当日は分別する、ヨシ束を作る。
- ・ヨシの利用:ヨシの工作の材料とする。  
平成21年度に集めたヨシ束は22年度に全体のレンジャー活動で  
使うヨシ工作の材料となった。

(4)実施日

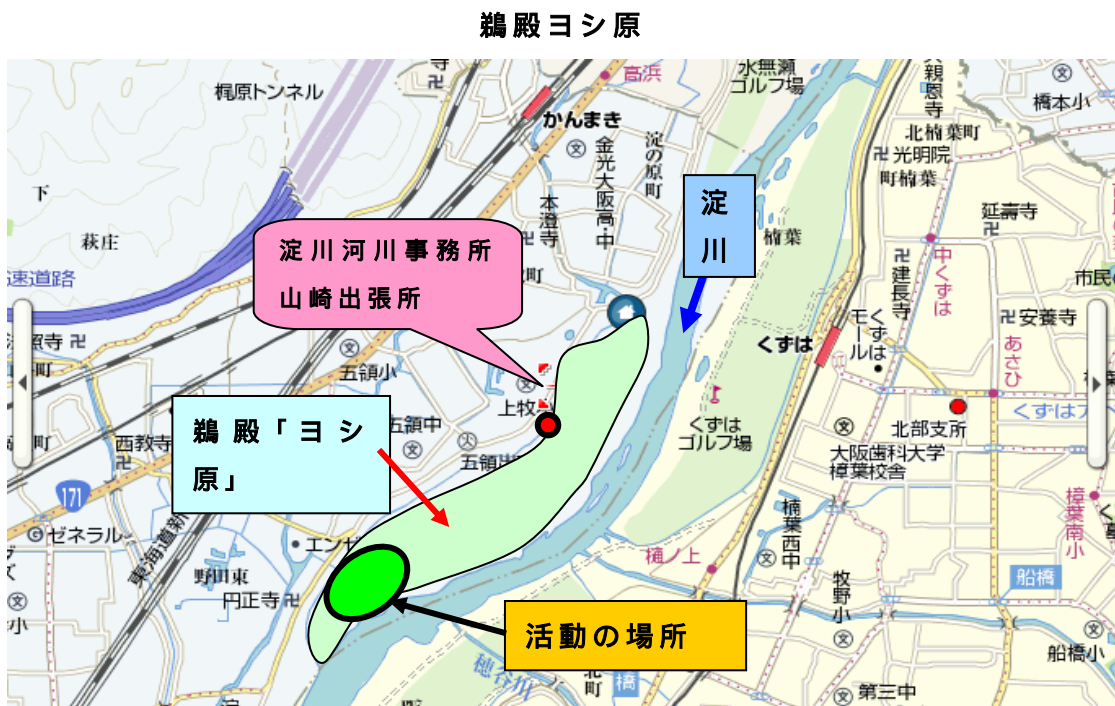
- 実施日 2月12日(土)を予定  
ヨシ原焼きの実施日により、前後する可能性がある。
- 中止・順延の判断基準  
前日および当日の天候により、当日の朝8時に判断
- 予備日 2月19日(土)を予定

#### (5)実施場所

場所:鵜殿の下流部の切り下げ地、または、上流部の導水路横の場所

設定の理由: いずれも淀川河川事務所のヨシ原保全事業が行われ、ヨシ群落が良好な場所。

いずれも、平成 20、21 年度に実施した場所で、実施結果より設定した。



#### (6)広報・募集方法

- ・ 淀川管内河川レンジャー ホームページへの募集案内の掲載
- ・ 淀川管内河川レンジャー レンジャーNews への募集案内の掲載
- ・ 高槻市、島本町の広報(ホームページ)への募集案内の掲載依頼をする
- ・ 高槻市、島本町の公民館等の公共施設、募集案内チラシの設置、配布
- ・ 近隣住民への回覧板などで、募集案内
- ・ 申込締切日:いずれも実施日の3~4日前

#### (7)協力スタッフ等の人数とその役割

小山弘道氏(淀川環境委員会委員)、鵜殿クラブ、地元住民など、  
人数:参加者の数により4名から8名、役割は説明や運営補助。

(8)必要支援内容

- ・国土交通省： 講師、協力スタッフの確保  
資料の収集  
配布資料の印刷  
募集案内の送付  
物品貸与、提供
- ・周辺市町村：広報、資料の収集

(9)活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・講師、協力スタッフの依頼、打合せ
- ・広報活動
- ・当日の運営
- ・報告作成

(10)昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・刈った跡のヨシの茎は固い、なるべく地面すれすれまで再度刈って安全に気をつけるようしているが、子供の参加が増えているので、より安全な環境を作ること。

(11)活動を行ううえでの課題等

- ・レンジャー活動の普及において、流域住民の多数の参加は重要である。多数の参加者で安全に活動を行うとすると、活動に必要な面積を、事前にヨシ・オギを刈り倒しておくことに、人手と日数がかかる。そのため  
の事前協力者の確保が課題。

(12)その他

- 特にありません。

## 5.4 「鵜殿の保全工事」の見学会

### (1)活動目的

鵜殿では、平成 9(1997)年から導水による、ヨシ原の保全工事が行われた。平成 22 年度には、さらにもう 1 台の揚水ポンプ設置が予定されている。平成 11(1999)年からは切り下げによる工事が始まり平成 22 年度も予定されている。

工事には人の関心が集まる。説明・見学会の実施により工事の目的、内容などの周知を行い、河川工事への理解を深めて頂くことを目的とする。そして、淀川の他の河川環境整備工事への関心が高まることを期待します。

平成 22 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 22 年	4 月		
	5 月		
	6 月		
	7 月		
	8 月		
	9 月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施計画の立案</li> <li>・広報の準備</li> </ul>
	10 月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力スタッフの手配</li> <li>・講師依頼</li> </ul>
	11 月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動</li> <li>・資料作成</li> <li>・講師、協力スタッフとの打ち合わせ、下見</li> </ul>
	12 月	工事見学会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師、協力スタッフとの打ち合わせ</li> <li>・講師、協力スタッフとのふりかえり</li> </ul>
平成 23 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

(2)参加対象者・定員

- ・参加対象者:運営会議対象区域内の地域住民(小学生は保護者同伴)
- ・定員:30人(安全確保の点から)

(3)実施内容

自然環境のヨシ原保全工事であるので、自然環境の理解が必要である。その為、内容は自然観察と工事見学を合わせたものが効果的であると考えられる。

- ・実施時間は10時～15時。場所の広さと内容から考えた。
- ・工事の目的、概要などの説明、実施場所での見学案内。
- ・過去の保全工事の成果の説明、見学。

(4)実施日

- ・平成22年12月を予定しているが、工期の発表後に、適した実施日を決定したい。
- ・小雨実施、雨天時は10時～12時に時間を変更して、山崎出張所内の鵜殿保全室にて室内講座で実施。

(5)実施場所

- ・実施場所:鵜殿のヨシ原



山崎出張所、  
鵜殿ヨシ原

(6) 広報・募集方法

- ・ 淀川管内河川レンジャー ホームページへの募集案内の掲載
- ・ 淀川管内河川レンジャー レンジャーNews への募集案内の掲載
- ・ 高槻市、島本町の広報(ホームページ)への募集案内の掲載依頼をする
- ・ 高槻市、島本町の公民館等の公共施設、募集案内チラシの設置、配布
- ・ 近隣住民への回覧板などで、募集案内
- ・ 申込締切日:いずれも実施日の3~4日前

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・ 小山弘道氏(淀川環境委員会委員)、鵜殿クラブ、地元住民など
- ・ 人数:3~4名、役割は説明や運営補助

(8) 必要支援内容

- ・ 国土交通省: 講師、協力スタッフの確保 資料の収集  
配布資料の印刷 募集案内の送付 物品貸与、提供。
- ・ 周辺市町村: 広報、資料の収集

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・ 実施計画の立案 ・ 講師、協力スタッフの依頼、打合せ
- ・ 広報活動 ・ 当日の運営 ・ 報告作成

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

工事見学会は初めての実施なので、ありません。

(11) 活動を行ううえでの課題等

初めての実施なので、出張所の協力や経験のあるレンジャーの協力を得て、実施をする。

(12) その他

自然環境のヨシ原保全工事であるので、自然環境の理解が必要である。その為、内容は自然観察と工事見学を合わせたものが効果的であるとの考えから、観察会と工事見学会を合わせて、1回の実施とする。

## 5. 年間活動計画以外の活動について

- ・平成 21 年度は、毎月の研修実行委員会の参加、淀川発見講座(1 日間)、レンジャー養成講座(3 日間)の運営への参加に加え、9 月に「水都大阪 2009」出展(2 日間)や 2 月に「淀川改良 100 周年記念イベント」(1 日間)出展の準備・実施に参加した。

平成 22 年度も、毎月の研修実行委員会の参加、淀川発見講座(1 日間)、レンジャー養成講座(3 日間)の運営に参加を予定しています。  
また、上記のような、対外的にレンジャー活動をアピールする機会に積極的な参加を考えている。

以上